



http://hiratsuka-rotary.jp



2014~2015年度
国際ロータリーテーマ
LIGHT UP ROTARY
「ロータリーに輝きを」

HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 鳥海衡一 ●副会長 清水孝一 ●幹事 白石慎太郎 ●会報委員長 日坂泰之 (2014~2015年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:15~13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2963回例会 2014年9月18日 グランドホテル神奈中 週報第2963号

ガバナー補佐をお迎えして

国際ロータリー第2780地区
第8グループガバナー補佐 加藤 勇 様
(平塚北ロータリークラブ)



主導し、地元や海外の地域社会の人々を援助する教育的、人道的、職業的プロジェクトの計画と実施を支援していくことであり、平塚ロータリークラブを理解していただける重要な活動です。

本年度のRI会長は、「ロータリーに輝きを」をテーマに掲げられ、地域社会でロータリーの存在感を高めてほしいと言っています。

平塚ロータリークラブとしては、このテーマに沿って、各委員会が鳥海会長の所信をよく理解し、特に鳥海会長が「四つのテスト」の中の「みんなのためになるかどうか」をもう一度確認し合おうと強調していますので、それぞれの委員会の活動を内容の連携を取って意見交換や、情報発信をし、本年度の活動をしていきます。

◆クラブ協議会

◆会長 鳥海衡一

本年度は2年後に迎える創立60周年のためにクラブ基盤の充実をはかることを考えています。まずは会員増強(拡大と退会防止)です。現在、拡大委員会を中心に紹介者カードと平塚RCの紹介パンフレットを作成し、クラブ全体でロータリーの仲間を増やしていきたいと考えています。そして、平塚RCとして築いてきた歴史と伝統をしっかり確認、継承し、継続的に続いている事業(創立50周年よりスタートした「よい音楽に親しむ会」など)を通じて地域に情報発信をしていきます。これから迎える60周年という新しい時代にも素早く対応できる柔軟な考えをもってクラブの色々な活動を進めていきたいと考えます。本年度のRIテーマの「ロータリーに輝きを」のもとに平塚ロータリークラブ会員メンバーが明るく、楽しく、爽やかにロータリーライフを過ごしていただくように努力をしていきたいと思います。

◆奉仕プロジェクト委員会 委員長 鳥山優子

奉仕プロジェクト委員会は、「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」の3つの委員会の中に、「インターアクト」「新世代」「友好クラブ」「姉妹クラブ」の7つの委員会があります。

奉仕プロジェクト委員会の活動はクラブの奉仕活動を

◆会員委員会 委員長 常盤卓嗣(会長エレクト)

会員委員会の3委員会は、クラブの基盤を支える会員増強委員会、会員選考委員会、職業分類委員会で構成されています。

本年度の2780地区渡辺ガバナーは、地区活動方針の一番目に会員の増強を挙げておられます。またRI会長も会員の増強について、明言されています。

クラブとして新会員を迎え入れるためには、私たちのクラブ活動が地域の人たちにとって、分かりやすくよく理解され、また、有意義なものでなくてはなりません。

そのためには、クラブを活性化させ、より一層充実したロータリー活動を推進することが大切であると考えます。

そして、クラブ内では、クラブ管理運営委員会等とも連携しメンバーの積極的な例会参加、例会の充実等を実現し、退会防止にも努めてまいります。

また、会員の増強選考に当っては、会員選考委員会そして職業分類委員会の適切な連携の実施をしていくことが大切であると考えます。

◆クラブ管理運営委員会 委員長 清水孝一(副会長) —より良いクラブライフを—

本年度RIテーマ“Light up Rotary”,そして鳥海会長所信の5項目に沿い、会員各位のご協力を得ながら、より愉しく豊かなクラブ造りをしてまいります。

①会員増強・維持は、クラブ自体の充実と外部認知度の

<出席報告>

本日	9月18日	会員数	59名	対象者	55名	出席者	45(43)名	出席率	78.95%			
前々回	9月4日	会員数	59名	対象者	55名	出席者	39(36)名	出席率	62.07%	MUP 4名	計 40名	修正率 68.97%

向上から

- ②例会を含むクラブ活動の一層の充実（旧きを訪ね新しきを知る）

◆財団委員会 委員長 成瀬正夫

- 財団委員会はロータリー財団委員会と米山記念奨学会委員会とでロータリアンの自発的な寄付で支えられています。
- ロータリー財団の新しい補助金システム、未来の夢計画（地区補助金）は、平塚ロータリークラブ創立60年の記念の年にふさわしい事業を検討しています。
- 地区運営方針を実行していきたいと思ひます。
 - 1 財団寄付 1人 200ドル以上
 - 2 ポリオ寄付 1人 40ドル以上
 - 3 ベネファクター 1クラブ 1名以上
 - 4 米山奨学金寄付 1人 20,000円以上

◆クラブ研修委員会 委員長 升水一義(研修リーダー)

平塚ロータリークラブは、R Iにおいて2006年より「クラブ研修リーダー」の任命が推奨され、地区においても2011年より採用された、「クラブ研修リーダー及びクラブ研修委員会の充実」の方針で、クラブ研修委員会が設置されてから3年目になります。

クラブレベルでのロータリー研修を強化、充実する事は、クラブの活性化と会員個々の自主性を高めることであり、活気ある楽しいクラブを作ることでもあります。研修を通じて、全会員がロータリーの教育、情報を把握し、一貫した研修によりロータリーを理解し、ロータリー活動に積極的に関わりを持つことができます。

活動内容として

- ①新会員のためにロータリー情報を提供し、オリエンテーションを定期的実施する。
- ②全会員に継続的に教育、情報を提供し、特にR I、地区の最新情報を収集し委員会を通じて提供する。
- ③本年度の会長方針に沿って事業を実施するにあたり、より効果的にするために、クラブ役員、関係委員会とも連携する。
- ④来るべき創立60周年に向けて、クラブの目標、行動指針、戦略計画づくりを行いたい。

新会員研修セミナーは昨年、一昨年とも年間3回実施し、本年度も3回予定している。ロータリーの基本的な情報や平塚ロータリークラブの歴史、組織の話、先輩会員や、研修委員の「私のロータリー」の話など交えながら、ロータリーを理解し、早くロータリーやクラブに溶け込んでもらい、例会や各種会合、事業に積極的に出席、参加するための場づくりと考えている。

クラブ研修委員会として本年度は、R Iが2010年に発表した[R I戦略計画]の「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージの認知度と向上」の3項目の理解と実践を目指して研修をしたい。そして本年度会長方針であります「世代を超えた情報交換」「地域への情報発信」に役立つ研修のために、毎月定期的にクラブ研修委員会を開催し、研修委員相互の研修を積み重ねて行きたい。

<委員会報告>

●プログラム委員会 副委員長 関口幸恵会員

次回9月25日の例会はIT委員会のクラブフォーラムになります。

そこで初めて(?)の試みになりますが全体委員会を開催致したいと思います。前・後半の2部構成とし、1部では大委員会ごとに座って頂き、委員会ごとにこのあと9か月の活動についてや会員拡大についてお話をさせて頂ければと思っております。そして後半では、当クラブのHPを管理してくれていますスギモト様にお越し頂き、HP仕組みの説明をして頂く予定です。次回例会は皆様に出席して頂いて成り立つ会になります。ご出席の程宜しくお願い致します。

●社会奉仕委員会 第9回『よい音楽に親しむ会』について

本年度のよい音楽の開催日は11/11(火)となります。例会終了後バスにて大原小学校へ移動します。本日が出欠ご提出の最終日となります。ご協力お願い申し上げます。

<幹事報告>

◎第24回インターアクト年次大会のご案内

テーマ「L I F E ～かぎりある命を守るために～」

日時：2014年11月23日(日)

10:30～11:00 受付

11:00～11:30 開会式

11:30～13:00 各校活動報告・講評

13:00～14:30 昼食・交流会

14:30～15:00 閉会式・点鐘

場所：花学園高等学校 体育館

登録料：一人 3,000円

<メークアップ>

4名

柳川正人・清水雅広・杉山昌行・杉山善弥 会員

<本日のスマイル>

20名

<ゲスト・ビジター>

3名

加藤 勇ガバナー補佐(卓話)

根岸君代ガバナー補佐副幹事(平塚北RC)

秋山 智様(入会前ゲスト)

<卓話・行事予定>

10月 2日(木) ガバナー公式訪問 渡辺治夫様(横須賀RC)

9日(木) 米山奨学生

ムウェニャ・チパラプエ様(ザンビア/東海大学在籍中)

16日→19日(日) 地区大会

場所：横須賀芸術劇場/メルキュールホテル横須賀

23日(木) 入会記念卓話 北本省三会員

30日(木) 休会(定款による)

<市内例会変更>

現在ございません。